

関西教育行政学会

会 報

第 12 号

The Kansai Society for Educational Administration

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院教育学研究科内

関西教育行政学会事務局

TEL & FAX: (075)753-3080

Mail: kansaisea@gmail.com

ホームページ <http://ksea.jp/>

■□■ 2017年度第33回大会のご案内 ■□■

【日時】 平成29年12月3日（日）午前10時から午後5時20分

【場所】 京都大学吉田キャンパス 文学部校舎2F 第7講義室
（詳細につきましては下記の地図をご参照ください。）

【大会参加要領】

1. 受付

9時30分から、文学部校舎2Fにて行います。

※大会参加費1000円（一般会員、学生会員、当日会員とも）

2. 大会プログラム

大会プログラムは当日、受付にて配布いたします。

3. 昼食

会場周辺の食堂をご利用いただくか、弁当をご持参下さい。

4. 年会費

大会当日に、来年度（2018年度）の早期納入割引会費

（一般会員6,000円、学生会員3,500円）の受付を設置いたします。

※ **大会および忘年会の出欠について、同封の葉書またはメールにて、11月30日（木）必着でご返信下さいますようお願いいたします。会場設営の関係上、必ずご返信をお願い致します。**

【会場案内】

「京都大学吉田キャンパス 文学部校舎」

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 Tel 075-753-2700

京都大学吉田キャンパスへのアクセス

【路線案内】

主要鉄道	利用交通	乗車バス停	市バス	市バス経路	所要時	下車バス停
JR/近鉄 京都駅から	市バス	京都駅前	□ 206系統	「祇園・北大路バスターミナル」行	約35分	京大正門前 または百万遍
			□ 17系統	「四条河原町・銀閣寺」行	約35分	百万遍
阪急 河原町駅から	市バス	四条河原町	□ 201系統	「祇園・百万遍」行	約25分	京大正門前 または百万遍
			□ 31系統	「高野・国際会館駅・岩倉」行	約25分	京大正門前 または百万遍
			□ 17系統	「出町柳駅 百万遍 銀閣寺」行	約25分	百万遍
			□ 3系統	「北白川仕伏町（上終町・京都造形芸大）」行	約25分	百万遍
地下鉄 烏丸線 烏丸今出川駅から	市バス	烏丸今出川	□ 203系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約15分	百万遍
			□ 201系統	「百万遍・祇園」行	約15分	百万遍 または京大正門前
地下鉄 東西線 東山駅から	市バス	東山三条	□ 206系統	「高野・北大路バスターミナル」行	約20分	京大正門前 または百万遍
			□ 201系統	「百万遍・千本今出川」行	約20分	京大正門前 または百万遍
			□ 31系統	「高野・国際会館駅・岩倉」行	約20分	京大正門前 または百万遍
京阪 出町柳	徒歩	(東へ)			約20分	
	市バス	出町柳駅前	□ 201系統	「百万遍・祇園」行	約10分	百万遍 または京大正門前
			□ 17系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約10分	百万遍

※上記路線図は京都大学 HP (http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/) より引用いたしました。

【周辺地図】



※大会会場の文学部校舎は地図中[8]の建物です。

※上記地図は京都大学 HP (http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/)より引用いたしました。

【大会日程】

開始時刻	内 容	会 場
9 時 30 分～【受付】	大会参加費 1,000 円（一般会員、学生会員、当日会員とも）	文学部校舎 2F 第 7 講義室 前
10 時 00 分～【自由研究発表】	「米国における教員評価制度の運用実態 —訴訟事例の分析を通して—」 藤村 祐子 会員 （滋賀大学） 「小学生の放課後対策に関する政策の動向と課題 —小学校における『幼保一元化』問題—」 野崎 洋司 会員 （湊川短期大学）	文学部校舎 2F 第 7 講義室
12 時 00 分～【昼食】	会場周辺の食堂をご利用いただくか、弁当をご持参下さい。	
12 時 00 分～12 時 30 分	〈紀要編集委員会〉	総合研究 2 号館 第 4 演習室
12 時 10 分～13 時 10 分	〈シンポジウム打ち合わせ〉	総合研究 2 号館 第 5 演習室
12 時 30 分～13 時 20 分	〈理事会〉	総合研究 2 号館 第 3 演習室
13 時 30 分～【大会シンポジウム】	「学校経営参加政策の変容と教育行政研究の課題」 パネリスト： 西川 信廣 会員 （京都産業大学） 鈴木 恭太 氏 （池田市教育委員会） 高田 一宏 会員 （大阪大学） 司会： 大野 裕己 会員 （滋賀大学） 山下 晃一 会員 （神戸大学）	文学部校舎 2F 第 7 講義室
16 時 30 分～【2017 年度総会】		文学部校舎 2F 第 7 講義室
18 時 00 分～【忘年会】〈会費〉	一般会員 4,500 円 学生会員 3,000 円（予定）	百万遍 しゃらく

【大会シンポジウム趣旨】

学校経営参加政策の変容と教育行政研究の課題

2017年3月、第193回国会において地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下、地教行法と略記）が一部改正された。同法改正は、2015年12月の中央教育審議会答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」（中教審186号）を直接の契機とし、保護者・地域の学校経営参加制度として2004年に導入された学校運営協議会制度について、いくつかの変更を加えるものであった。

2017年改正地教行法による学校運営協議会制度の変更が内にもつインパクトとして、大きく二点指摘しうる。第一は、「学校レベルにおける学校経営参加制度の論理の変化」である。改正地教行法第47条の6第1項は、学校運営協議会の協議事項について「当該学校の運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関」と定め、従前の「運営に関して協議」の規定内容に対して、新たに「運営への必要な支援」の文脈を追加している。この変更には、学校レベルの裁量拡大とのワンセットの関係で保護者・地域住民の経営参加を通じた学校への直接の民意反映を指向した、2004年の制度導入時の理念（学校経営参加の論理）の変質可能性をみることができる。

そして第二として、「教育行政の地方分権化の性質の変化」の可能性を挙げたい。2017年改正地教行法では、学校運営協議会の設置は、教育委員会による所管学校のうちの「指定」による設置から、原則として全所管学校への設置の「努力義務」に変更された（同法第47条の6第1項）。このことは、2000年代に導入された学校・地域関係形成に関する多様な制度（学校評議員（類似制度を含む）、学校運営協議会、学校支援地域本部）について、自治体の政策選択を認めていた（その意味で、学校・地域関係形成は教育行政の地方分権化の重要な場面の一つと言えた）点からの転換（単一制度の適用）とも捉えうる。

以上のインパクトを踏まえると、今後の日本の学校経営参加のあり方の展望に向けて、現在までの中央レベルの学校経営参加政策の変化の解説、また今般の学校運営協議会制度変更に潜在する可能性・課題の解題及び自治体の制度運用における課題の検討の必要性を意識できる。また、これまで関西では、全体としてみると学校運営協議会制度導入には慎重と解される実態がみられた（その背景には、自治体独自制度の積極的導入、学校の意思決定への直接的な民意反映の制度化の難しさ等、多面的な要因を推察しうる）。この点、関西における学校経営参加の推進経緯や課題意識、新制度への対応の方向性を検討することもまた重要と考えられる。本シンポジウムでは、日本の学校経営参加政策をあらためてテーマに取り上げ、関西の状況も意識しつつ上述の論点について議論を深めるとともに、教育行政研究が引き受けるべき研究課題についても検討していきたい。

本シンポジウムでは、三人のパネリストに報告・問題提起を依頼した。まず、文部科学省関係審議会等の委員も歴任された西川信廣会員に、学校運営協議会設置努力義務化に至る中央レベルの政策形成過程の内実や特質を、中教審小中一貫教育部会、文科省コミュニティ・スクール推進協議会での議論を中心に論じていただく。次に、大阪府池田市教育委員会教育政策課長の鈴木恭太氏に、同市所管校（施設一体型小中一貫校）に学校運営協議会を設置した経緯、その過程での府教育委員会とのやりとり、現状と課題等々を事実即して報告いただく。最後に、関西の学校・地域を対象とした調査研究に長期的に取り組んできた高田一宏会員に、関西（大阪）における学校経営参加政策・実践の文脈・特質と最近の中央レベル政策への課題意識や対応の方向性を提示いただく。

大会担当理事 大野 裕己

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 中央の学校経営参加政策の変化とその意味 | 西川信廣会員（京都産業大学） |
| 2. 市町村／学校レベルでの実践化における課題 | 鈴木恭太氏（池田市教育委員会） |
| 3. 関西における学校経営参加をめぐる研究課題 | 高田一宏会員（大阪大学） |

□■□ 事務局より □■□

【紀要第 45 号への投稿申込について】

『教育行財政研究』第 44 号（2018 年 3 月発行予定）の「自由研究論文」及び「研究ノート」への投稿申し込みを受け付けています。「自由研究論文」への投稿資格は、2016 年 1 月例会から 2017 年 12 月例会（大会）において発表した会員です。なお、「研究ノート」は、その性質上、例会・大会でいまだ発表していない場合でも投稿可能です。

投稿資格を有し、かつ投稿を希望する会員は、所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上、件名「投稿申込」として 11 月 30 日（水）17 時までに編集幹事・柴（t-shiba@poole.ac.jp）までメール添付でお送りください。所定の申し込み用紙は、学会 HP（<http://ksea.jp>）からダウンロード可能です。なお、原稿の投稿締め切りは 2018 年 1 月 10 日（水）17 時です。ご不明な点などございましたら編集幹事・柴までお問い合わせください。

【例会報告のお願い】

例会報告をご希望の方は、例会担当の山下理事、大野理事もしくは事務局までご連絡をお願いします。

【会費納入のお願い】

2017 年度学会費を未納の方は、早急に納入をお願いいたします。一般会員は 7,000 円、学生会員は 3,500 円です。

また来年度（2018 年度）学会費につきましても、大会受付時にお支払いいただけます。なお、3 月例会までの月例会出席時に直接お支払いいただくと、一般会員は 6,000 円となります。会費の納入状況につきましては、遠慮なく事務局までお問い合わせください。

郵便振替口座番号： 0 1 0 0 0 - 8 - 3 4 2 2 7 加入者名： 関西教育行政学会

他の金融機関から当学会郵便振替口座へお振込みをしていただく際は、以下の振込用の店名・預金種目・口座番号・受取人名をご指定ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9 9 0 0
店番	1 0 9
店名（カナ）	一〇九店（イチゼロキュウ店）
預金種目	当座
口座番号	0 0 3 4 2 2 7
カナ氏名 （受取人名）	カンサイキョウイクギョウセイガツカイ （全て大文字）

【事務局からのお願い】

所属、住所、メールアドレス等が変更になりましたら、お手数ですが事務局までご一報ください。

【事務局の連絡先】

住所：〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院教育学研究科内

電話：075-753-3080

Mail：kansaisea@gmail.com

忘年会のご案内

【日時】平成 29 年 12 月 3 日（日） 午後 6 時より

【会費】一般会員 4,500 円程度、学生会員 3,000 円程度

※参加人数により多少変動する可能性があります

【会場】百万遍 しゃらく（〒606-8225 京都市左京区田中門前町 59）



(上図は、Google マップ (<http://maps.google.co.jp/>) より引用しました。)